



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,580 世帯
人口 10,617 人
男 5,338 人
女 5,279 人
(令和4.3.1 現在)



▲ママピラティス

昨年11月18日の活動をもって、約30年間続いた未就園児とその保護者でつくる子育てサークル『笹賀おやこクラブ』が幕を閉じました。

最後となるこの日の活動はママピラティスでした。2年前から同クラブの代表を務める川崎英里さんは「お母さんのみが体験する運動系の活動は参加者が少ないことから計画を避けてきましたが、長年携わってきたスタッフの意向もあり、最後は自分たちのやりたいことをやろうと決めました」と話しました。



# ありがとう 笹賀おやこクラブ

ピラティス体験を楽しみました。参加した生後11カ月の男の子のお母さんは「今日はとてもリフレッシュできて良かったです。笹賀おやこクラブがなくなってしまうのはとても残念。また、このような

笹賀地区の民生児童委員さんが子どもの遊び相手になってくれている間、講師の指導でお母さんたちがゆつくりと

ベントを通して交流を深め、子どもたちの成長を見守りながら楽しんできました。活動内容の企画運営を行う中心的なスタッフは、未就園児のお母さんからお母さんへと受け継ぎ続けてきました

元々は笹賀地区の親子で始めた活動だということですが、近年は居住地区の制限はせずにたくさん

の親子が定期的に集まり、いろいろな企画したい」と意欲的に話していました。

前クラブ代表で約7年間中心的なスタッフとして企画運営に携わってきた渡邊美樹さんは「コロナの拡大もある中で思うように活動

機会があればぜひ参加したいです」と、話してくれました。昨年の活動内容は、スイーツデコ体験、ブルーベリー狩り、人形劇鑑賞、そしてママピラティスでした。



▲調理実習

各自、仕事などもしているなかボランティアで活動することは、大変なご苦労があったのではないかと尋ねたところ「いい仲間と巡り会えて楽しく活動できました」と、笑顔で答えてくれました。

しかし、なくしてしまうのは惜しいとクラブを卒業したお母さんたちが立ち上がり、地域の子育て支援になればと活動を続けてくれました。最後のスタッフメンバー5人中4人は子どもが就園就学しています。

が、時代や環境の変化もあり、スタッフとしてクラブ運営に携われる人員の確保が難しく、数年前から何度も解散の危機があったそうです。

今も交流のある方もいます。当たり前のようにあると思っていた子育てコミュニティが、今回「当たり前ではなかったんだ」と考えさせられました。今まで守り続けてきたスタッフの皆さんに心より敬意と感謝を申しあげます。



▲夏祭り

だいた私自身も、息子(現在中学生)と、約2年間参加させていただきました。当時は多い時で月2回の活動日があり、毎回楽しく参加できる活動内容で、充実した時間を過ごせました。市外から笹賀地区に引越してきたばかりで知り合いもいませんでしたが、友人もでき、保育園、小学校、そして中学校と、共に子どもの成長を見守りながら今も交流のある方もいます。

# コミュニティバスを活用しよう

この館報発行と同時に、笹賀地区コミュニティバス時刻表が全戸配布されています。これは笹賀地区福祉の地域づくり協議会が、地区内からの利用を中心にマップと時刻表をまとめたものです。

## 交通弱者の力になりたい

まず、協議会会長の太田尚行さんにお話を聞きました。

平成26年にスタートした笹賀地区福祉の地域づくり協議会では6つの課題を定め、事業計画を立てて推進しています。その中の一つに「見守りあんしんネットワーク」という支えあいシステム作りがあり、地域で対応する支援活動として、送迎ボランティア



「笹賀おしどり桜」が目印!

に取り組みました。交通弱者救済のため、ボランティアによる買い物や通院の送迎を、二美町2丁目町会をモデル町会として、平成30年10月より実施しました。

他町会への展開のためアンケートを行ったところ、「当町会では必要無い」という回答を含め、ボランティア活動をできる人材が無い、個人の車を使う上での問題点など、現時点では運営が実質困難であることがわかり、展開は保留することがわかりました。しかし交通弱者を放っておくわけにはいきません。できることから実行しようと、いただいた提言などを踏まえ、市で運営するコミュニティバスの利用促進を考えよう、ということになりました。

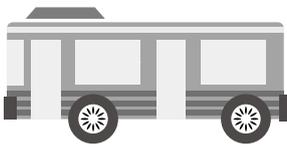
## バスの路線を知ってもらおう

時刻表について、促進事業を担当した、副会長の宮林茂昭さんに聞きました。

二美町のような送迎が、他の町会でうまく進められないので、地区内を通る3路線のバスを、買い物や通院に利用できるよう後押ししたらどうだろうと考えました。市からもコミュニティバスの運行について説明を受けたら、結構いろいろなどところに行けることが分かりました。

バス利用の促進にはまず、どこに行く路線があるのか、笹賀地区内のどこで乗り降りできるのか、何時にそこを通るのかを周知する必要があります。そこで笹賀地区を中心とした時刻表と、笹賀地区を通る路線の部分地図を作成し、主な行き先をわかりやすくまとめました。

見やすい大きさ、そして折り畳んで胸ポケットやバッグに入れていつでも使いやすいように工夫しました。



## 知っていますか? コミュニティバスはいつでも降りられます

コミュニティバスの存在は皆さんご存じだと思いますが、車の運転ができて利用する必要のない人も多いため、細かいことは知らない人が多いと思います。乗車はバス停のみですが、運転手に声をかけておけば、路線内であればバス停でなくても降りることが出来ます。これは知らない人が多いです。

コミュニティバスは実際にどんな雰囲気なのでしょう? 過去に利用したことのある若い人から、エピソードを聞きました。

「もう何年も前のことですが、私が小学生の時の話です。友だちと映画を観に行くためにコミュニティバスを利用しました。ずっと友だちとおしゃべりしていたのですが、途中から乗ってきたおばあちゃんがお話が面白いからとおしゃべりに参加してきてとても楽しかったです。その時に漠然とですが『地域』という事を感じたことを覚えています」

## スポーツ大会結果

毎年恒例の『第37回笹賀地区町内公民館対抗卓球大会』、『西南ブロックゲートボール大会』ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ともに中止の判断となりました。

## 知りまじょうじょうきまじょうじょう

今は乗る機会がない人も、免許を返納したりして、利用する必要性が高くなることは十分考えられます。利用したい時に不便では困ります。地域のためのバス運行です。コースや運行予定を見て気づくことがあると思います。それが改善可能かどうか、行政に投げかけみんな考えていくことは、私たち住民の権利です。松本市は、将来にわたり市民の足となる公共交通を持続可能なものとするために「公設民営化事業」を進めています。福祉の地域づくり協議会も、笹賀地区としての意見を出せるように、みなさんの意見を集めています。

